

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2024年2月28日

事業所名：放課後等デイサービス
Le-Lian aqua

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	100%			・その日に利用される生徒さんの特徴に合わせて、空間を分けたり、外出活動や個別対応を行うようにしている。	78%	22%				
	2 職員の適切な配置	75%	25%		・規定に沿った人員配置が出来ているが、送迎時間などでは、不足を感じることもある。	78%	11%			・「適切」を知らないため解らない	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	75%	25%		・空間の中を比較的シンプルにし、情報量を最小限に抑えている。	56%	33%				
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	100%			・清潔感には常に意識をし、毎日の清掃美化に努めている。 ・窓が大きく必要に応じてロールカーテン使用	100%					
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	100%			・スタッフの個人目標設定 ・各月ごと目標設定、にサービス提供についてのMTを実施している。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	75%	25%		・弊社本部スタッフによる業務改善 ・顧問行政書士による評価、相談の実施を行っている。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	100%			・月に一度大学講師を招いての研修内容：応用行動分析・障害特性・子どもの発達について ・スタッフ間での事例検討ケア会を月に2回実施						
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	75%	25%		・子どもたちの日頃の様子に合わせた目標設定の更新が計画的に行えず、簡易的。 管理システムの導入で修正を図る。	89%	11%				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	75%	25%		・子どもたちの日頃の様子に合わせた目標設定の更新が計画的に行えず、簡易的。 管理システムの導入で修正を図る。	89%	11%				
	3 子ども状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	50%	25%	25%	・利用時その都度発生する個別の対応等については、支援記録に記載。計画に反映できていないこともある。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携 (続き)	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備										
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	75%	25%		・ご家族からのニーズ、生徒さんからのニーズが発生した場合には、積極的に学級担任や学校の先生との情報共有を実施している。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供		100%		・相談支援専門員さんの以降など、卒業後の進路については、ご家族、生徒さんのニーズに合わせて実施している。あまりケースはない。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	100%			・研修案内のあるものについては、積極的に参加している。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	75%	25%		・他の放課後等デイサービスさんとの交流の機会は多く設けている。障がいのない子どもとの活動機会は少ないが、地域の公園へ出かけた際など、積極的に交流を図っている。	44%	33%	11%		・わからない	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	100%			・虐待防止、身体拘束に関する協議の機会に、地域の民生委員さん、他機関相談支援専門員に参加をお願いし、実施を行った。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	75%	25%		・契約時に重要事項説明と合わせて行っている。	78%	22%				
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	50%	50%		・サービス提供日の当日朝に、その日の利用の案内として、活動の内容や活動の目的をご家族へ向けて共有を行っている。	78%	22%				
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	50%	50%		・個別の相談をお受けすることはあるが、ペアレントトレーニング等の計画的な支援の実施は行っていない。来年と計画実施予定	67%	22%	11%			

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	75%	25%		・サービス提供終了後に、利用時の様子や、活動実施時の様子を画像とメッセージで配信している。気になる点は送迎時、お迎えに来所された際に、直接お伝えするようにしている。	67%	22%			・LINEでその日の様子を写真やコメントで教えていただき、とても分かりやすいです。本人が話せないで、大変助かっています。	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	50%	50%		・計画的な相談の機会提供は行えていない。送迎時、ライン、学校の先生からの相談や、学校、ルリアンでのトラブル発生時には、個別に提案を行い実施している。	67%	22%	11%		・夜遅い時間まで対応下さり、ありがとうございます。おかげで仕事を続けることが出来ています。	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援		100%		・ママパパ会の開催はあるが、頻度がかなり少なく、連携支援にまでは発展させることが出来ていない。ご要望はあるため、来年度の計画とする。	67%	22%	11%			
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	75%	25%		・ご家族からのご要望や、苦情については、迅速に対応を行っているが、他の親御さんに向けての共有、周知には至っていない。	56%	33%			・解らない	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	75%	25%		・活動の内容など、毎月の活動予定表の提示にはとどまらず、イレギュラーな活動がある場合には、あらかじめLINEでメッセージを配信したり、送迎時に直接伝えるなどの工夫をしている。	78%	22%				
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	100%			・毎月の行事予定表については、1カ月以上前から提案をし（毎月月末に翌月の行事予定表を提示）ゆとりをもって、予約スケジュール管理が出来るようにしている。	78%	22%				
10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	75%	25%		・SNS（ブログ・Instagram）で、日々の活動の様子を配信している。あらかじめ個人情報の取り扱いについて配慮している。	78%	22%					
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底		100%		・策定しているが、周知徹底は十分に行えていない。	44%	56%				
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施		100%		・行事予定表の中に、訓練、避難、災害についての内容を取り入れ、意識出来るようにしている。頻度が少ない。	44%	56%				

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	100%			・虐待防止委員会を設置し、年に4回の定例会、所内研修の実施を行っている。						
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	100%			・身体拘束における同意書の策定、年に1度第三者評価（相談支援専門員・地域の民生委員さんをお招きし）をいただくように計画している。						
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応		100%		・医師との連携は図れていない。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100%			・毎日の朝礼、ケア会などの場面で共有し、再発のないように改善策をたてるようにしている。						